

すずしろ

～開拓・発展・完成～

3月 第10号

令和3年3月1日

開進第四中学校だより

校長 児島 泰彦

<朝礼の話>

今年最後の朝礼になりました。例年であれば体育館で皆さんの顔を見ながらお話をしますが、今年度はその機会が一度もなく終わろうとしています。物事にはその場の状況に応じた対応が大切ではありますが、やはり寂しいものがあります。3年生にとっては開進四中での最後の朝礼になります。この学年やクラスのメンバーと過ごす時間も残りわずかとなりました。

まだ皆さんには実感がないのは当たり前ですが、中学の頃に知り合った親友は生涯の親友になることが多いです。お互いに切磋琢磨して、自己を高める友人関係を作ってください。私も中学を卒業して40年以上たちますが、いまだに中学時代のバレーボール部の友人とは交流があります。バレーボール部は今では男子の部がある学校はほとんどありませんが、私が小学校5年生の時のミュンヘンオリンピックでは金メダルを獲得しているほど、男子のメジャーなスポーツの一つでした。その時の監督は「松平康隆」さんという人で、たまたまですが私の父親の小中学校の同級生でした。

松平さんは、当時のバレーボールの常識を覆すようなトレーニングを積極的に取り入れました。その結果、日本の選手は、世界を驚かすようなプレーをするようになりました。例えば、今では当たり前になっているフライングレシーブとか、一人時間差攻撃とか、当時の日本選手が世界で初めてやったプレーがいくつもあります。また、松平さんは、バレーボールの技術・体力を高めるだけでなく、選手一人一人の「心を鍛える」ことにも取り組みました。その取組の一つに「やってはいけない3つの『ない』」というものがあります。一つめは「あきらめない」、二つめは「ひるまない」です。どちらも強い相手に立ち向かう時に必要となる「心のもち方」です。もう一つの「ない」は「あなどらない」です。「あなどらない」とは「侮辱しない、馬鹿にしない」ということです。人は、相手を「馬鹿にする」気持ちをもつと、楽をしようとして、自分自身で必死に頑張ることをしなくなるものです。さらに悪いことに、人を「馬鹿にする」気持ちのある人は、「いじめ」や「いやがらせ」など、人間としてやってはいけないことをやってしまう人が多いものです。私は、3つの「ない」の中で「あなどらない」、つまり「侮辱しない、馬鹿にしない」ということが、人として最も「やってはいけない『ない』」であると考えます。

そこで、決して人を「馬鹿にする」ことなく、人を大切、また人とのつながりを大切にすることができるようになるためにはどうしたらよいでしょうか。

誰にでも簡単にできて効果のある言葉があります。その一つめは「ありがとう」、という言葉です。これは「感謝」の気持ちを表します。二つめは「すみません」、これは「失敗を謙虚に反省して謝罪する」ことです。三つめは「おはようございます」、これは人間関係をはじめるための第一歩となる「あいさつ」です。

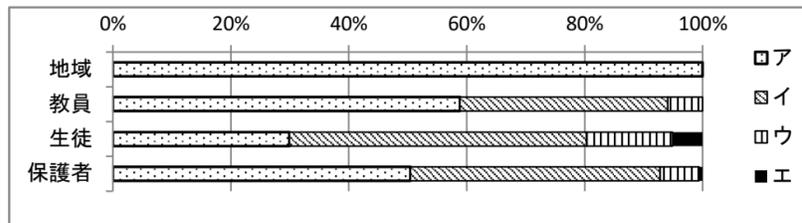
「ありがとう・すみません・おはようございます」を素直に言えること、それは相手の心を思いやることだと思えます。皆さん、これからは今まで以上に、この言葉を進んで言えるようになってください。そして、開進四中をさらによりよい学校にしていきましょう。そして3年生は、4月からの生活においてもこの気持ちを忘れず、新たな環境で過ごしてください。

学校評価(年度末評価)の結果について

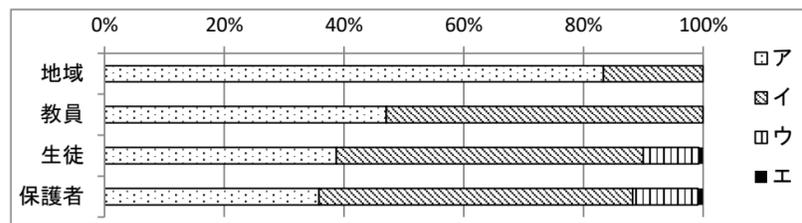
ア、そう思う イ、ややそう思う ウ、あまりそう思わない エ、そう思わない

アンケートへのご協力ありがとうございました。

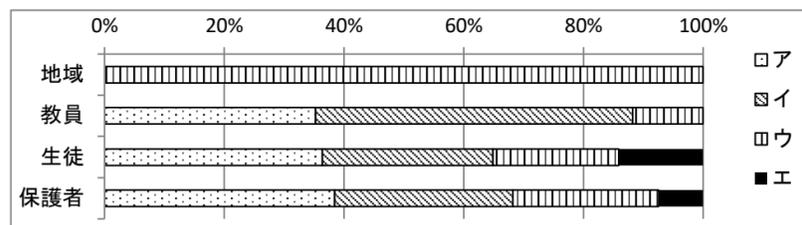
		ア	イ	ウ	エ
1. 本校では、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていると思いますか。	地域	6			
	教員	10	6	1	0
	生徒	117	197	57	20
	保護者	168	141	22	2



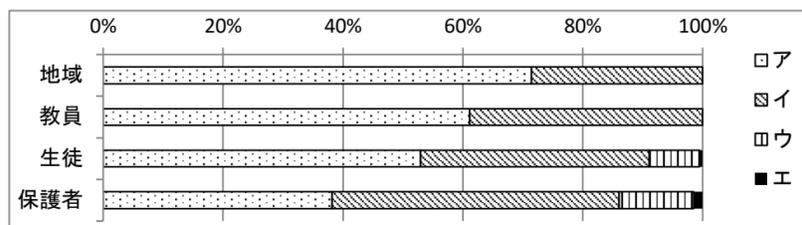
		ア	イ	ウ	エ
2. 本校は、生徒の基礎学力を定着させるための取組を適切に実施していると思いますか。	地域	5	1		
	教員	8	9	0	0
	生徒	151	200	36	3
	保護者	119	174	36	3



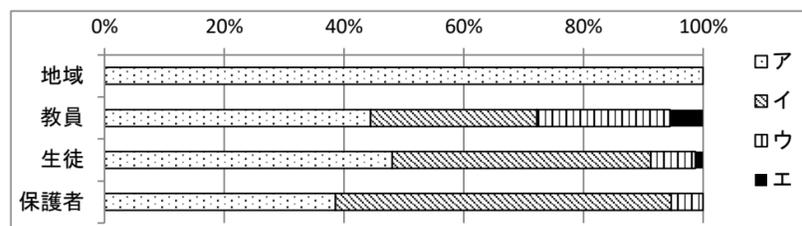
		ア	イ	ウ	エ
3. お子様の家庭学習の時間は、年度当初より増えたと思いますか。	地域			1	
	教員	6	9	2	0
	生徒	142	111	82	55
	保護者	98	76	62	19



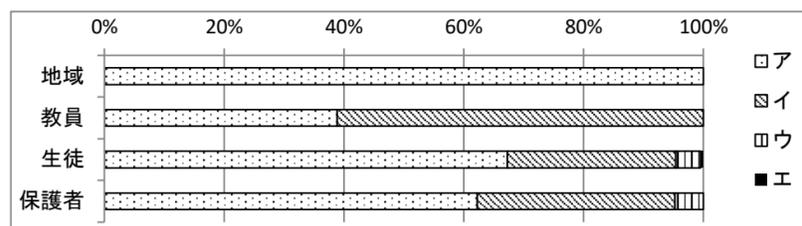
		ア	イ	ウ	エ
4. 本校の生徒は、よくあいさつができていますか	地域	5	2		
	教員	11	7	0	0
	生徒	207	149	33	2
	保護者	129	162	42	5



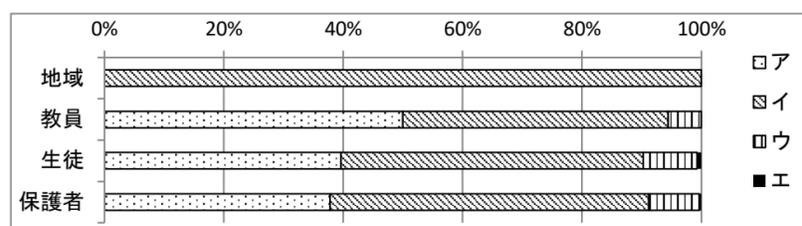
		ア	イ	ウ	エ
5. 本校の生徒は、ルールを守り、規律ある生活を送っていると思いますか	地域	6			
	教員	8	5	4	1
	生徒	188	169	29	5
	保護者	130	189	18	0



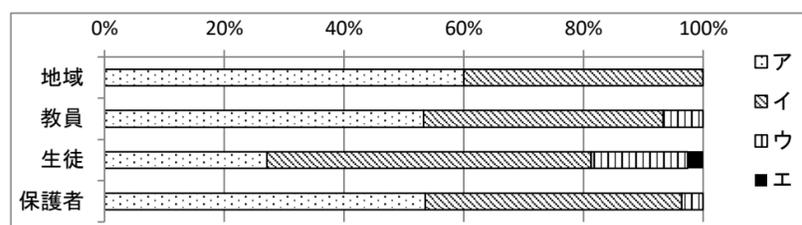
		ア	イ	ウ	エ
6. お子様は、友人と仲良く、楽しく充実した学校生活を送っていると思いますか。	地域	1			
	教員	7	11	0	0
	生徒	263	110	16	2
	保護者	211	112	16	0



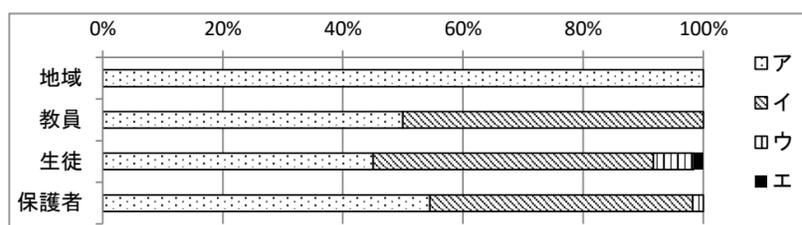
		ア	イ	ウ	エ
7. お子様は、相手の立場に立って考えたり行動したりすることができるようになったと思いますか	地域		1		
	教員	9	8	1	0
	生徒	155	198	35	3
	保護者	128	181	29	1



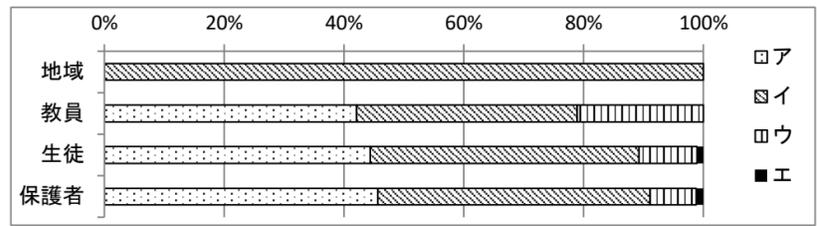
		ア	イ	ウ	エ
8. 本校は、生徒に校内の美化・環境整備に適切に取り組ませていると思いますか。	地域	3	2		
	教員	8	6	1	0
	生徒	106	212	63	10
	保護者	180	144	12	0



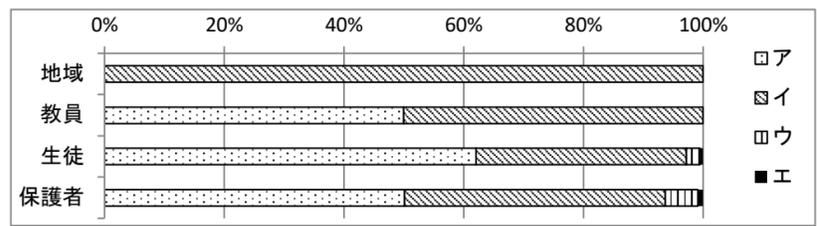
		ア	イ	ウ	エ
9. 本校は、生徒に安全・防災(避難訓練など)に適切に取り組ませていると思いますか。	地域	7			
	教員	8	8	0	0
	生徒	168	174	25	6
	保護者	183	147	6	0



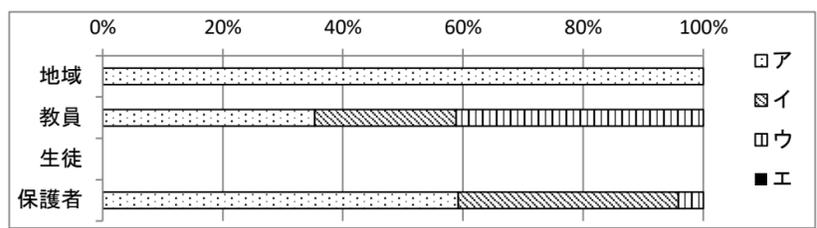
		ア	イ	ウ	エ
10. 教員は、お子様の話を良く聞き、困った時には相談にのっていると思いますか。	地域		1		
	教員	8	7	4	0
	生徒	173	175	38	4
	保護者	154	153	26	4



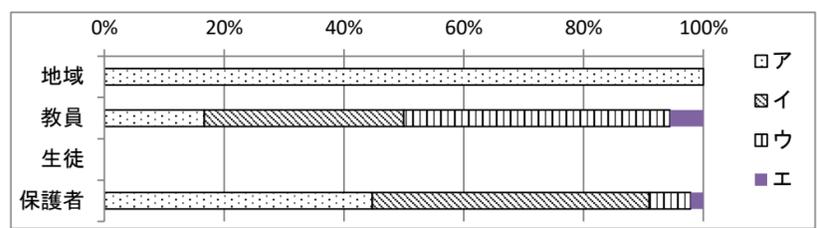
		ア	イ	ウ	エ
11. 教員は、お子様が悪い事をした時にはきちんと叱って指導していると思いますか。	地域		1		
	教員	8	8	0	0
	生徒	242	137	9	2
	保護者	167	145	18	3



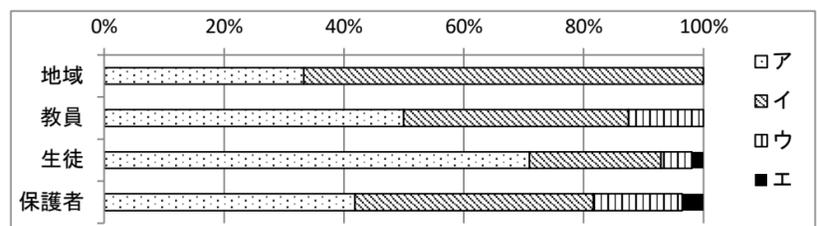
		ア	イ	ウ	エ
12. 本校は、学校だよりや学年・学級だより、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていると思いますか。	地域	6			
	教員	6	4	7	0
	生徒	/	/	/	/
	保護者	200	124	14	0



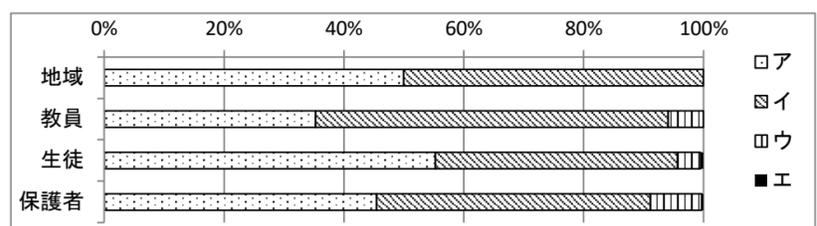
		ア	イ	ウ	エ
13. 本校は、地域の小学校と連携した教育活動に適切に取り組んでいると思いますか。	地域	5			
	教員	3	6	8	1
	生徒	/	/	/	/
	保護者	148	153	23	7



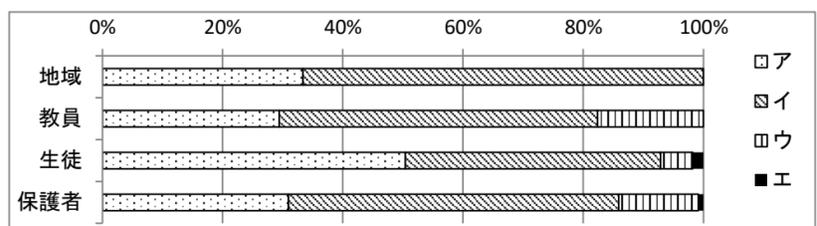
		ア	イ	ウ	エ
14. 本校の部活動は、充実していると思いますか。	地域	2	4		
	教員	8	6	2	0
	生徒	220	68	16	6
	保護者	141	134	50	12



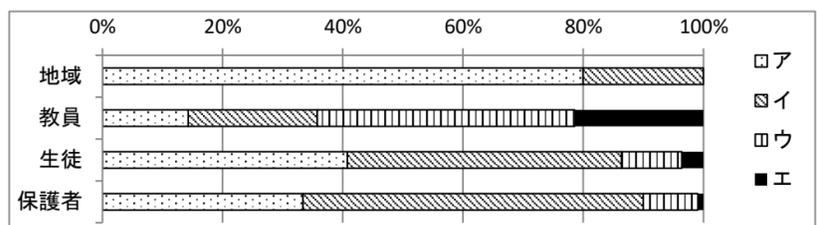
		ア	イ	ウ	エ
15. お子様の各教科の評価・評定は適切に行われていると思いますか。	地域	1	1		
	教員	6	10	1	0
	生徒	216	158	15	2
	保護者	154	155	29	1



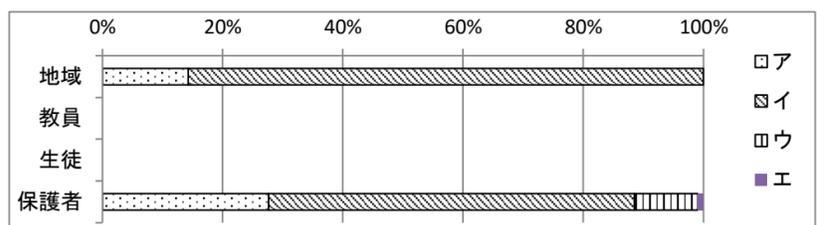
		ア	イ	ウ	エ
16. 本校は、生徒の将来を見通した進路について適切に指導していると思いますか。	地域	1	2		
	教員	5	9	3	0
	生徒	197	166	21	7
	保護者	103	183	44	3



		ア	イ	ウ	エ
17. 本校は、運動や合唱コンクールなどの学校行事が充実していると思いますか。	地域	4	1		
	教員	2	3	6	3
	生徒	159	178	39	14
	保護者	103	175	28	3



		ア	イ	ウ	エ
18. 本校の保護者や地域社会の人たちは、学校に協力的であると思いますか。	地域	1	6		
	教員	/	/	/	/
	生徒	/	/	/	/
	保護者	89	196	34	3



◇保護者アンケートの「今後、特に力を入れて取り組んでほしいことを3つ以内で選んでください。」の質問への結果。

ア	わかりやすい授業をすること															
イ	道徳教育に力を入れること															
ウ	ルールや決まりを守る指導に力を入れること															
エ	上級学校に進むための進路指導に力を入れること															
オ	運動会や合唱コンクールなどの学校行事をもっと充実させること															
カ	教室やトイレなどの施設や設備の美化に力を入れること															
キ	安全や防災（避難訓練など）などの訓練を充実させること															
ク	小学校との連携を充実させること															
ケ	外部の講師やゲストティーチャーを招いた授業を充実させること															
コ	日本の伝統や文化に関する教育内容を充実させること															
サ	国際理解に関する教育活動を充実させること															
シ	奉仕活動やボランティア活動などを充実させること															
ス	教員の資質や指導力を向上させること															
セ	基礎学力を向上させるための補充指導を充実させること															
ソ	体力を向上させる取り組みを充実させること															
タ	その他															

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ
1年	65	15	23	37	13	6	7	1	29	15	33	10	23	45	11	3
2年	69	15	15	45	9	2	9	7	34	6	27	14	26	60	15	3
3年	29	3	11	15	3	2	1	1	17	9	15	7	12	22	13	0
合計	163	33	49	97	25	10	17	9	80	30	75	31	61	127	39	6

今年度はコロナ禍の影響により、予定していた活動がほとんどできない状況でした。特に4、5月は学校が臨時休業となり、生徒と接することができないという過去にない状況でした。そんな中、どのような形で生徒たちに支援できるかを考え、オンラインによる教材の提供を行い、その数は150本を超え、少なからず学習の手助けを行うことができたと思っています。また、毎日の健康チェックもオンラインを通じて行うことができ、登校ができない中でも生徒への個別のサポートをすることができました。

6月から学校生活が再開されましたが、学校公開の機会をもつ

ことができず、保護者の方に学校の様子を見ていただくことができないことから、ホームページを活用して1日の出来事を毎日更新して伝えたり学年だよりや学校だより等を発行して、積極的に周知を図る取組を行わせていただきました。近隣小学校との交流活動も残念ながら例年のようにできませんでしたが、動画を活用して活動を紹介するなど可能な限り取り組みました。

今年度も特に力を入れて取り組んでほしいという要望は「わかりやすい授業をすること」でした。授業内容の充実、生徒を引きつける手法など今後も改善を図っていきますが、次年度はタブレット端末を利用した取組やデジタル教科書の使用も部分的に始める予定であり、本校の重要課題として取り組んでいきます。

次年度においても、急にはコロナ禍の状況が改善されないことが予想されますが、その場の状況を把握しつつ最善の対策を講じながら、生徒に寄り添った指導を心がけ、「毎日の登校を楽しみにできる学校」となるよう、教職員で総力を挙げて取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。